【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公表番号】特表2020-509895(P2020-509895A)
【公表日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2020-013
【出願番号】特願2019-551463(P2019-551463)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｌ　9/12　(2006.01)
Ａ４７Ｌ　9/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｌ　9/12　Ａ
Ａ４７Ｌ　9/10　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月18日(2019.9.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
フィルタホルダと、フィルタホルダの外側に嵌設された濾過カートリッジと、濾過カートリッジに連結されたエンドキャップと、エンドキャップに回動可能に保持された蓋体とを備える掃除機であって、前記エンドキャップには、シュートと、あて板と、あて板と離間した底板とが設けられ、前記蓋体に突起ブロックが設けられ、前記突起ブロックはシュートに沿って蓋体に追従して回動でき、前記あて板は、突起ブロックの一側に係止されて蓋体のエンドキャップからの脱落を防止するために使用され、前記濾過カートリッジは、フィルタホルダを収容する収容空間を有し、前記底板に底板を貫通する貫通口が設けられ、前記貫通口はあて板と対向し、前記貫通口はシュートと収容空間との間を連通し、前記蓋体に貫通口内に延出した延出部が更に設けられ、前記蓋体がエンドキャップに対して回動する過程において、延出部は蓋体に追従して回動し、貫通口の反対両端の間で回動するように制限される、ことを特徴とする掃除機。
【請求項２】
前記フィルタホルダにセンターピラーが設けられ、前記蓋体がセンターピラー周りに１つの回転方向に従っておよび逆らって回転することができ、前記センターピラーの外周面にねじが設けられ、前記エンドキャップに複数の挟持部材が設けられ、前記挟持部材にリブが設けられ、前記蓋体がエンドキャップに対して前記回転方向に従って回転する過程において、前記蓋体は各挟持部材を押してセンターピラーへ移動させ、前記複数の挟持部材はセンターピラーを挟持し、リブはセンターピラーのねじに嵌め込まれる、ことを特徴とする請求項１に記載の掃除機。
【請求項３】
前記蓋体がエンドキャップに対して第１角度位置にある場合、前記複数の挟持部材はセンターピラーを挟持し、前記蓋体がエンドキャップに対して第２角度の位置にある場合、前記複数の挟持部材はセンターピラーを挟持せず、前記蓋体はエンドキャップに対して第１角度位置と第２角度位置との間で回動するように制限され、前記蓋体が第１角度位置から前記回転方向に逆らって第２角度位置まで回転する過程において、前記複数の挟持部材は、センターピラーから離れる方向へ移動し、センターピラーに対する挟持を解除し、前記

蓋体が第１角度位置から前記回転方向に従って回動する場合、蓋体は、エンドキャップおよび挟持部材を前記回転方向に従って回動させ、挟持部材のリブはねじに沿って這い上がる、ことを特徴とする請求項２に記載の掃除機。
【請求項４】
前記エンドキャップには、シュートの一端に位置する第１ストッパ壁が設けられ、前記蓋体が第１角度位置から前記回転方向に従って回動する場合、突起ブロックは第１ストッパ壁を押し当てることにより、エンドキャップおよび挟持部材を前記回転方向に従って回動させる、ことを特徴とする請求項３に記載の掃除機。
【請求項５】
前記あて板の１つの直線に沿う投影は、貫通口の前記直線に沿う投影によって覆われ、前記直線は蓋体の回転軸線に平行であり、前記貫通口は円弧状となり、前記延出部は蓋体の回転軸線に平行であり、前記貫通口は、蓋体の回転方向において対向する第１端および第２端を有し、前記蓋体がエンドキャップに対して回動する過程において、前記延出部は第１端と第２端との間で回動するように制限され、前記延出部は突起ブロックから一体に延出し、前記突起ブロックに、反対側となる第１側および第２側が設けられ、あて板は、突起ブロックの第１側に係止されて蓋体のエンドキャップからの脱落を防止するために使用され、前記延出部は突起ブロックの第２側からあて板から離れる方向へ延出する、ことを特徴とする請求項１に記載の掃除機。
【請求項６】
前記エンドキャップには開口が更に設けられ、前記開口はあて板の末端と隣接し、蓋体をエンドキャップに取り付ける時、突起ブロックは開口からシュートに入り、延出部は開口、シュートを順次経て貫通口内に入り、前記エンドキャップに、挟持部材と、シュートの径方向内側に位置する第１側壁とが設けられ、前記あて板は第１側壁に連結され、前記第１側壁およびあて板はそれぞれシュートの１つの溝壁を構成し、前記蓋体がエンドキャップに対して１つの回転方向に従って回転する過程において、前記蓋体は挟持部材を押して蓋体の回転軸線へ移動させ、挟持部材は第１側壁から延出する、ことを特徴とする請求項１に記載の掃除機。
【請求項７】
前記貫通口は円弧状の外側辺を有し、前記延出部は外側辺の径方向内側に位置し、前記延出部が貫通口の反対両端の間の任意の位置にある時、前記延出部は前記外側辺に接触し、または径方向外方へ第１距離移動すれば前記外側辺に接触でき、前記第１距離は０ｍｍ～１．２ｍｍである、ことを特徴とする請求項１に記載の掃除機。
【請求項８】
前記貫通口は、外側辺の径方向に対向する円弧状の内側辺を更に備え、前記延出部は内側辺の径方向外側に位置し、前記延出部が貫通口の反対両端の間の任意の位置にある時、前記延出部は径方向内方へ第２距離移動すれば前記内側辺に接触でき、前記第２距離は第１距離よりも大きい、ことを特徴とする請求項７に記載の掃除機。
【請求項９】
前記シュートの数、前記あて板の数、前記延出部の数、および前記貫通口の数がそれぞれ複数個備えられ、各延出部は対応する貫通口内にそれぞれ延出し、各延出部は、蓋体の回転軸線周りの円周に均一に分布される、ことを特徴とする請求項１に記載の掃除機。
【請求項１０】
掃除機に用いられ、濾過カートリッジと、濾過カートリッジの一端に連結されてそれを遮蔽するエンドキャップと、濾過カートリッジの他端に連結されたエンドリングと、エンドキャップの外側に回動可能に保持された蓋体とを備え、前記エンドキャップが貫通する端孔を有し、前記蓋体がセンターピラー周りに１つの回転方向に従っておよび逆らって回転することができる濾過アセンブリであって、前記蓋体は前記端孔を遮蔽し、前記エンドキャップに、シュートと、挟持部材と、底板とが設けられ、前記蓋体が前記回転方向に従ってエンドキャップに対して回転する過程において、前記蓋体は挟持部材を押して蓋体の回転軸線へ移動させ、前記蓋体が前記回転方向に逆らってエンドキャップに対して回転する

過程において、前記挟持部材がセンターピラーから離れる方向へ移動し、前記蓋体にシュートに沿って蓋体に追従して回動可能な突起ブロックが設けられ、前記底板に底板を貫通する貫通口が設けられ、前記貫通口はシュートと濾過カートリッジ内部空間との間を連通し、前記蓋体には貫通口内に延出した延出部が更に設けられ、前記貫通口は、回転方向において対向する第１端および第２端を有し、前記蓋体がエンドキャップに対して回動する過程において、前記延出部は第１端と第２端との間で回動するように制限される、ことを特徴とする濾過アセンブリ。